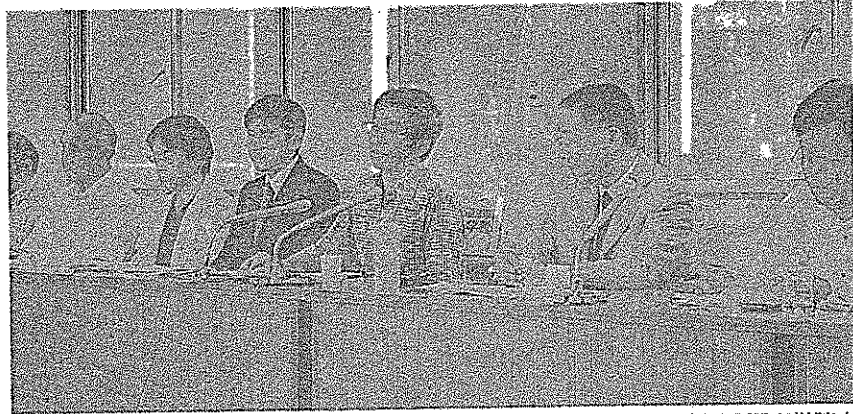


# 戦争法案廃案 共同広がる

## 教員声明に賛同次々 福岡県内3大学の運動交流



記者会見に出席した福岡県内3大学の教員ら＝3日、福岡市早良区の西南学院大

福岡県内3大学で戦争法案の廃案を目指して取り組む教員有志は3日、福岡市早良(さわら)区の西南学院大学で記者会見を開き、各大学での取り組みについて報告しました。

九州大学、福岡大学、西南学院大学の教員ら13人が出席。九州大の出水薫教授は、25人の教員が呼びかけ人となった戦争法案反対の声明に500人以上の署名が寄せられていることを紹介。「この法案に対する関心の高まりと強い懸念が表れている」と述べました。福岡大の林政彦教授は、さまざまな困難がある中で教員や学生らが立ち上がっていると

し、「私たちの研究を人殺しのために使わないという思いで署名を呼びかけていきたい」と声を詰まらせながら語りました。西南学院大の田村元彦教授は、有志が呼びかけた声明に全教員の4割以上の賛同があったことを報告し、「教え子を戦場に行かせないことを発表しました。」

### 3日で53人賛同

佐賀大名誉教授有志が声明

佐賀大学名誉教授有志が2日、佐賀県庁で会見し、安全保障関連法案に反対する声明を発表しました。長野暹(すずむ)代表は「戦時中を生き残ってきた世代として、立ち上がらなければいけない」と述べ、60年安保も私にはなかった。あの時も戦争反対でたたかいたが、今ほど市民が自主的に立ち上がっている時はない」と話します。

呼びかけ人の近藤弘樹名誉教授は「佐賀大学名誉教授が233人いる中で、3日間で53人の賛同者を集めました。まだ声をかけていない人もいますので、賛同者はまだまだ集まると思いますが」と報告しました。有志声明は「再び戦争への道を歩む法案に反対します」としています。

## 署名1万8千超提出 党埼玉県委が国会議員に

日本共産党埼玉県委員会は3日、衆院第2議員会館で、戦争法案に反対する署名1万8106人分を、紙智子参院議員と塩川鉄也、梅村さえと両衆院議員



(右3人目から)塩川、紙、梅村の各議員に署名を手渡す(右端から)前原、金子両県議と(左端から)伊藤、おくだ両氏。日、衆院第2議員会館

に手渡しました。埼玉県委員会の署名は6月の提出分と合わせ、4万人分を超えました。おくだ智子参院比例候補や伊藤岳参院埼玉選挙区候補、金子正江、前原かつえ両県議、県内各地区委員会の議員が参加し、宣伝や署名などの取り組みを交流。おくだ氏は「戦争法案反対の世論がどんどん高まっていくことを実感しています。(安倍自公政権と国民との)せめぎあい」に勝つために頑張り抜きます」と語りました。3人の国会議員が情勢報告し、紙議員は8月30日の国会包囲行動や全国総行動が政権にショックを与え、国会審議でもともに答弁できない状況で、採決を強行できない状態に追い込まれていると指摘し「廃案にするため、これからのたたかいが重要だ」と述べました。

9/4 赤旗